

# 伊藤学園 優和専門学校を傘下に

## 福祉教育 湯田高と連携

来月1日

甲府湯田高を運営する学校法人伊藤学園(甲府市青沼3丁目、伊藤信理事長)と優和福祉専門学校を運営する学校法人優和学院(昭和町築地新居、井口弘章理事長)は12日までに、4月1日に合併することを決めた。伊藤学園が同専門学校を傘下に収め、甲府湯田高と連携した福祉教育に乗り出す。県によると、県内での学校法人の合併は最近10年では初めて。

県私学文書課によると、昨年9月に両法人からの合併の認可申請を受け、県知事が認

可した。甲府湯田高(生徒数530人)は県内で唯一、介護福祉

士試験の受験に必要なカリキュラムを設ける福祉科(1学年定員30人)がある。優和

福祉専門学校は2007年4月に開校。2年制の介護福祉科(1学年定員40人)のほか、ホームヘルパー2級の養成講座など、一般向けの「優和スクール」を開講している。

介護福祉士を養成する専門学校と高校の連携で福祉教育の体制を拡充したい両学校法人の構想が一致した。優和福祉専門学校にとっては、専門学校甲府医療秘書学院、山梨情報科学専門学校を運営する伊藤学園の傘下に入ること

で、学生確保や他校との連携をスムーズに行えるメリットがあるとみられる。伊藤学園によると、優和学院側からの提案を受けて1昨年から合併交渉を続け、同学園が優和福祉専門学校の運営を引き継ぐことで合意に至った。講師陣は伊藤学園が引き継ぎ、専門学校の名称は変更しない。優和学院は合併に伴い解散し、井口理事長らは経営から退く。優和福祉専門学校は4月から、伊藤学園の経営で従来通り存続する。甲府湯田高の伊藤祐寛校長は「高校、専門学校双方の強みを生かし、福祉分野で活躍する優秀な人材を育成していきたい」と話している。

山梨日日新聞

平成二十二年三月十三日掲載